

第1回 西部工場再整備検討委員会 議事録

1 日時 令和3年7月2日（金）10：00～11：00

2 場所 福岡市西部工場 管理棟2階 研修室（福岡市西区大字拾六町1191）

3 出席者（敬称略）

・委員

氏名	所属・役職等
黒瀬 武史	九州大学大学院 人間環境学研究院 教授
小出 秀雄	西南学院大学 経済学部 教授
田中 昭代	九州大学大学院 医学研究院 講師
塚原 健一	九州大学大学院 工学研究院 教授
中山 裕文	九州大学大学院 工学研究院 准教授
濱田 雅巳	公益社団法人 全国都市清掃会議 技術部長
松藤 康司	福岡大学 名誉教授

※五十音順

・傍聴者 2名

4 会議次第

- 1 開会
- 2 委員・事務局の紹介
- 3 西部工場再整備検討委員会について
- 4 委員長及び副委員長の選任
- 5 福岡市のごみ処理等の現況について
 - (1) 福岡市のごみ処理の現状と今後の計画について
 - (2) 福岡市のごみ処理施設の概要、西部工場の特徴と再整備の検討について
- 6 閉会

5 議事録

○西部工場再整備検討委員会について

【委員】

ごみ焼却施設の検討であっても、最終処分場の位置付けが重いと思うが、どのように考えているのか。

【事務局】

埋立場を長く有効活用するという観点は、埋立量の削減に向けた取り組みと、根本であるごみ減量において、非常に重要であると考えている。

○委員長及び副委員長の選任

- ・委員の互選により松藤委員を委員長に決定
- ・委員の互選により中山委員を副委員長に決定

○福岡市のごみ処理等の現況について

(1) 福岡市のごみ処理の現状と今後の計画について

【委員】

他自治体と違い、福岡市は全国でも珍しく夜間収集を採用しており、分別が他自治体と異なる部分があると考えている。また、清掃工場4か所と埋立場3か所が大体中心部から10~15キロ以内に施設が配置されている。

【委員】

国が「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」を作成しており、交付金にも影響を与えると言われている。この件についてはどう考えているのか。

【事務局】

現在策定中のごみ処理基本計画において、プラスチックごみ処理のあり方検討を行うことを記載している。その実施内容によっては、西部工場再整備にも関わりが出てくることがあると考えている。

【委員】

今後施設配置などを考えていくうえで、西部工場の隣に資源化センターがあるが、資源化センターは一時的に他の場所を使うというような、具体的な案などはあるか。

【事務局】

配置等の具体的な内容に関しては、第2回以降で様々な可能性を議論させていただきたいと考えている。

【委員】

西部工場では、近隣市町村のごみを受け入れているか。

【事務局】

隣接する糸島市では、処理施設を独自に管理、運営されているため、糸島市のごみの受け入れは行っていない。

(2) 福岡市のごみ処理施設の概要、西部工場の特徴と再整備の検討について

【委員】

総合西市民プールにエネルギー供給を行っているが、熱供給はしておらず電気のみの供給か。

【事務局】

西部工場から総合西市民プールまでは距離があり、熱供給は難しいと判断し、電気のみを供給している。

【委員】

西部工場の横には2つの高校、正面に大きな住宅地があることが、今後再整備にあたり、議論になってくるのではないかと思う。

【事務局】

周辺への配慮や丁寧な説明が必要と考えている。

【委員】

西部工場の現状説明で、能力が発揮できていないとあったが、その原因は把握しているのか。

【事務局】

設備の老朽化が進行していることが主な原因と考えている。

【委員】

ダイオキシン対策として途中でバグフィルタを追加したこと、ごみ質が若干変わってきていることが、能力低下の原因ではないかと思う。

【委員】

西部工場では何日も稼動を停止しなければならないトラブルはあったのか。

【事務局】

機器の故障件数が増加しているが、公害防止基準よりも厳しい管理基準を満足した形で運営を継続している。

【委員】

学校や住宅が密接しているが、地元から工場の稼動に対して苦情が来ている等はないか。

【事務局】

工場と住宅地が近い位置関係にあるので、臭いなどが気になって電話される方はおられる。その都度、現場確認と風向や風速、運転状況等を確認しているが、西部工場とは無関係と思われる場合がほとんどである。

【委員】

新しい工場ほど売電の実績額が高くなっているが、新工場では現工場よりも発電量が増えるのか。

【事務局】

新しい施設ほどエネルギー効率が高い。国も新施設の整備時は、高いエネルギー効率での整備を期待し、交付金の条件等となるエネルギー効率が示されている。

以上